

いわてのNPO・ボランティア活動情報誌

いわてのNPO・ボランティア活動を
笑顔でつなぐパイン



特集 新しい可能性

「若者達が創り出す次代の力」 02-03

団体活動紹介

04-05

ふるさとの「海に学び」「海に親しみ」
「海を活用する」

「いわて」の森林に光と風を
野球を通じたまちづくり活動

Information

06-07

県からのお知らせ

イベント・助成金情報

岩手県社会福祉協議会からのお知らせ

NPO活動交流センター

からのお知らせ 08

【表紙のNPO団体のご紹介】

盛岡ボードゲームクラブ

世界にある様々なボードゲームの研究・発信を行い、老若男女が楽しく遊べる場を提供する団体です。遊びを通じてコミュニケーション能力を高め、ルールやマナーの大切さを知る事ができ、また脳が活性化されるなど良いことだらけ!この日もアイーナ6階で、ゲーム大会を催しました。

特集

新しい可能性

若者達が創り出す次代の力

NPO法人いわて GINGA-NET

任意団体を経て、平成24年2月NPO法人として設立。当時大学生、OB・OGを中心に設立した団体で、学生ボランティアのコーディネート、若者の人材育成やネットワークづくりに取り組んでいます。



代表の八重樫さんにお話を聞きました！

仙人峠に千人集合！

東日本大震災があった2011年3月、当時学生ボランティアとして災害ボランティアセンターの運営支援を行うことから、活動を始めました。

避難所から応急仮設住宅などへ生活が移行した頃、

全国から多くの学生ボランティアのマンパワーを支援へとつなぐため、「いわてGINGA-NETプロジェクト」を起ち上げました。全国の大学等に呼びかけ、2か月間で146大学、1,086人（延べ7,000人以上）の学生が参加してくれました。

NPOを起ち上げると決意した

プロジェクトを通じて全国の多くの方との出会い、若者の熱意を感じたことをきっかけに、身近な存在として復興を支え続けていくため、「NPO法人」設立という目標に意識が向き始めました。もちろん初心者で、起ち上げ方や運営の仕方ともわかりませんでした。けれど一緒にやろうという仲間がいたことや全国の1,000人を超える学生との出会いが後押しになり、県立大の卒業生・現役学生を中心にNPO法人を設立しました。

自分で見る！ 聞く！感じる！

震災から2年余り。今年、活動で現地を訪れた時に「若い人たちが来ると賑やかになる。来てくれるだけで嬉しい」と多くの方から声をかけてもらいました。時間の経過とともに関心が薄れがちな支援。でも、現地ではまだ「待っている人たち」がいます。その際、訪れる地域の特徴や歴史などを知っていると、地元の皆さんとのコミュニケーションのヒ



地元の皆さんと楽しくコミュニケーション

ントやきっかけになると思います。たとえば、釜石なら鉄鋼業やラグビーについてなどetc. 街の変化を感じることができるし、何より、会話が広がると思います。

また、ボランティアに参加する方からよく聞かれるのが、「被災者の方との会話で言ってはいけない事ってなんですか？」という質問です。でも、ひとりひとりのコミュニケーションには答えは無いと思っています。その方それぞれの様子や経験や想い、自分とその方との関係を考えながら答えを見つけていくしかないのだと思います。学生の皆さんは、そのことからこれから自分自身にできることを知り、学ぶことができるかもしれません。



結集した学生ボランティア

次のステージへ

今、沿岸の商店街では商品の売り上げが落ちていると聞きます。震災後しばらくは、復興支援という事で多くの皆さんが商品を買ってくださいました。しかし、県内外での復興支援の機運が落ち着いてきたことも影響しているのでしょうか。このような状態の中で商品



漁のお手伝いもしました



新しい絆が生まれました

のパッケージやキャッチコピーへ学生のアイデアに期待する声もあります。これまでの支援とは違う活動が必要になってきています。これまでのように、被災地の大変な状況を伝えるだけではなく、復興に向けてすむ姿やエネルギーを発信していくことが重要だと考えています。私たちの持ち味である「若さ」で地域を盛り上げて、どんどん地域のパワーを見せていきたいと思っています。

これからの「GINGA-NET」

今回、被災地支援活動を通じて多くの方と繋がることができました。

「若い人たちもなかなかやるじゃん」と若い力に期待していただけるような活動をしていきたいです。また、参加したボランティアの皆さん自身にとっても「自分ができること」「自分が目指すもの」に気づききっかけになればと思います。特に、学生には貴重な体験です。学校の中にいるだけでは気づかない社会の常識や人との繋がり、何物にも代えることはできません。そして、現地の皆さんにとっても、若い人たちの力を頼りにしてもらえたらと思います。私たちが一方的に地域を支援するという形ではなく、地域の皆さんと共に一緒に考えながら育っていきたくと思っています。

NPO法人いわて GINGA-NET

URL : <http://www.iwateginga.net/>

公式ブログ：

<http://blog.canpan.info/iwateginganet/>

団体活動紹介

ふるさとの「海に学び」 「海に親しみ」「海を活用する」

NPO 法人いわてマリンフィールド

平成14年に法人設立。シーカヤック教室などを通じて、マリンスポーツの振興や海をフィールドにした社会教育の推進、環境保護活動に取り組んでいます。理事長：橋本 久夫さんにお話を聞きました。

海の魅力

私たちのNPOは平成14年4月に船出しました。ふるさとの海をベースに仲間と共に、多くの人に海の素晴らしさを伝えながら海を活用したまちづくりをしようとスタートしたものです。

マリンスポーツ振興を中心に、海辺体験教室とヨット&シーカヤック出前講座、海洋イベント及び生涯学習講座、海外との相互国際交流、藻場の調査や清掃活動などの環境保全など幅広い活動に取り組んでいます。

海から学ぶ

地域の海はすべての人にとってかけがえのない財産です。海を学ぶことは地域全体を学ぶことでもあります。これらの資源を生かすことこそが、住み良い活力ある地域社会の形成や、人や環境に優しい潤いある

まちづくりにつながっていくのです。

海と共に生きる

しかし、2011年3月11日、すべてが大きく変わりました。私たちの活動拠点である「リアスハーバー宮古」も壊滅的な被害を受けました。あれから2年が経過しました。被災後、本格的な活動がなかなかできませんでしたが、2013年を新たな契機とし「海の寺子屋」など子どもたちの人材育成事業を計画しながら復興の海へと乗り出していきます。



黙祷を捧げる参加者達

NPO法人いわてマリンフィールド

HPIは休止中
FaceBook：
<https://www.facebook.com/iwatemarinefield>

野球を通じたまちづくり



今日も元気にトレーニング中!!

NPO法人 岩手の野球を発展・躍進させる会

平成17年に法人設立。スポーツを通じて、青少年の健全育成、人間形成に関する事業を行い、社会教育・活気あるまちづくりを目的に活動しています。事務局長：瀬川 暁さんにお話を聞きました。

フェズントとは？

地域の元気をスポーツから～現在、企業野球チーム「フェズント岩手」の運営を中心に活動しています。岩手県の鳥「雉」を意味するフェズントをチーム名にしました。少しでも多くの皆さんに応援してもらいたいという気持ちを込めた名前です。

「いわて」の森林に光と風を

NPO 法人いわて森林再生研究会

平成15年に法人設立。ボランティア活動を通じて森林の荒廃をくい止め、山の環境とその恵みを守り育てます。理事長：齋藤 文男さんにお話を聞きました。

安全への徹底

設立以来、「森林についての基礎知識」「正しい機械のつかい方」「安全なもりづくりの技術」「間伐材の活用」のカリキュラムから構成される森林ボランティア講座を毎年開催しています。講座修了後は自分の山や地域で所有する山の整備を行うなど、他団体との連携が広がっています。また10年間事故がゼロであり、信頼される技術者の養成がさらなる活動へと繋がっていると考えています。

間伐が森を救う

間伐とは、育てようとする樹木同士の競争を軽減するため、混み具合に応じて一部の樹木を伐採する作業です。木が密集していると「自然がいっぱい」という印象を受けますが、光が地面まで届かないので草木が育ちません。それらをエサにする生物も育ちません。根も太くならないので災害にも弱くなります。間伐は森にとって一番必要な作業であり、これらの問題を解決していきま

団体活動紹介

す。また、間伐によって緑が増え、間伐材を「炭」などに活用することで、二酸化炭素の削減にもなるのです。

私たちにできること

今、手入れをしないと森林は荒廃していくだけです。県民の皆さまには、山や森林を見てほしいのです。そして間伐材を利用した商品等を是非使ってください。それが森林保護につながります。

これからも光と風が通る森林づくりを行うため、「森林ボランティア講座」をしっかりと続けていきます。



チェーンソーの実習風景

NPO法人いわて森林再生研究会

住所：〒020-0113 岩手県盛岡市上田堤1-13-7
Tel・Fax：019-663-0547
URL：http://www.eins.rnac.ne.jp/~issk/

体づくり・まちづくり

フェズント岩手の特徴は、様々な企業に所属している選手によって構成されていることです。社会人野球の前線でプレーしてきた選手が引退後の受け皿としてのチームであり、また、事情があって企業チームではプレーできない選手の活躍の場としてのチームです。さらに野球を通じての地域支援という事で、住田町

NPO法人岩手の野球を発展・躍進させる会

住所：〒020-0022 岩手県盛岡市大通1-2-1 産ビル1F
Tel・Fax：019-652-5155
URL：http://www.pheasant-iwate.com/
E-mail：info@pheasant-iwate.com



様々な大会で結果を出しています

「NPO法人劇団ゆう」が 認定NPO法人となりました！

滝沢村にある「NPO法人劇団ゆう」が、今年3月に岩手県で2つ目となる認定NPO法人に認定されました。

認定NPO法人制度は、財政基盤が脆弱なNPO法人への寄附を促すもので、岩手県の認定を受けることにより、寄附をする側も受ける側も税制上のメリットを得ることができます。

認定NPO法人制度を大いに活用し、復興支援や地域づくりなど、NPO活動を促進させましょう。

○劇団ゆう【認定NPO法人】

- ・代表者：理事長 菊田 第一
- ・住所：岩手県岩手郡滝沢村鶴飼字細谷地146番地18
- ・電話：019-687-2733
- ・法人設立目的：世代を超えた演劇活動を通じ学び合うことにより、子供達の夢を形に、そして感動を限りない成長につなぐと共に、住民参加型の文化活動、地方発信型の文化活動の推進を図ることを目的とする。

○岩手県内の認定(仮認定)NPO法人 (平成25年5月31日現在)

- ・NPO法人成年後見センター(盛岡市) 認定期間：平成24年12月25日～平成29年12月24日
- ・NPO法人子育てネット(盛岡市) 仮認定期間：平成25年2月28日～平成28年2月27日
- ・NPO法人劇団ゆう(滝沢村) 認定期間：平成25年3月28日～平成30年3月27日

【認定NPO法人に関する相談窓口】

岩手県政策地域部NPO・文化国際課 認定NPO法人専門員までお気軽にご相談ください。
平日 午前9時～午後4時
(ただし金曜日は午後3時まで)
〒020-8570 盛岡市内丸10-1
TEL:019-629-5199 FAX:019-629-5339
E-mail:FA0042@pref.iwate.jp



演劇活動の様子



NPO法人劇団ゆう

イベント 情報

NPO活動交流センター より『NPO基礎講座』 開催!!

【概要】NPOの基礎知識、NPO法の概要について学びます。

【日時】平成25年7月11日・25日(木)
8月 8日・22日(木)

【参加費】無料(どなたでも参加できます。)

【会場】アイーナ5階 ミーティングルーム
(盛岡市盛岡駅西通1-7-1)

【お問い合わせ先】NPO活動交流センター
TEL:019-606-1760
FAX:019-606-1765
E-mail:n-katsu@aiina.jp



ゆいっとサロンより 市民活動のための相談会開催

【概要】

市民活動をされている方、NPOの活動を目指している方を対象とした、NPOのことなんでも相談カフェです。参加費は、無料です。気軽にお立ち寄り下さい!

【第2回日時】平成25年7月24日(水)14:00～17:00

【場所】紫波町情報交流館オガール 小スタジオ
(紫波町紫波中央駅前2-3-3)

【お問合せ先・お申し込み先】

市民活動支援センター「ゆいっとサロン」
〒028-3318 紫波町紫波中央駅前2-3-3
TEL:019-676-2468 FAX:019-672-3618
E-mail:yuitto@nifty.com
URL:http://yuittosaron.blog78.fc2.com/



助成金 情報



助成金

女性・若者／シニア起業家資金 融資額：7,200万円以内(うち運転資金4,800万円以内)
新規開業資金 融資額：7,200万円以内(うち開業資金：4,800万円以内)

随時受け付けております。

お問い合わせ

<http://www.jfc.go.jp/>

日本政策金融公庫

助成対象

女性・若者／シニア起業家資金：女性、30歳未満または55歳以上の方
新規開業資金：勤務経験を生かした創業をお考えの方



財団法人 国際花と緑の博覧会記念協会



助成対象

- 被災地周辺の仮設住宅における次の活動
- ・プランの作成、専門家の派遣
- ・簡易な花壇やプランター等の整備、栽培指導
- ・屋内を飾る切り花や寄せ植え等の多様な花育活動
- ・花や緑の苗木の植栽等
- ・上記に準ずる活動

助成金

活動に必要な経費の1/2以内で、1件あたり25万円を上限とします。

締切日

下半期：平成25年8月15日(木)～平成25年9月15日(日)※ただし、各期において支援金額が予定額に達した場合は申請を受け付けられない場合があります。

お問い合わせ

<http://www.expo-cosmos.or.jp/>

岩手県社会福祉協議会からのお知らせ

岩手県社会福祉協議会ボランティア・市民活動センターでは、7月から10月末までの4か月間、子どもから大人まで誰もが気軽にボランティアに参加できるよう、「ボランティア体験inいわて」を開催します。

今年は「笑顔つながる大きな輪」をテーマに、県内から様々なプログラムを提供しています。

○体験期間

平成25年7月1日(月)～10月31日(木)

※この期間内で各施設・団体ごとに実施日を決めています。

○参加対象

ボランティア活動に参加したい方

※プログラムによっては条件を設けている場合があります。

○体験内容

施設利用者とのふれあい、夏祭り等の行事への協力、保育園等で幼児とのふれあい等

※詳しくは、ガイドブック、下記ホームページをご覧ください。ガイドブック・案内チラシは県社協ボランティア・市民活動センターおよび各市町村社会福祉協議会等で閲覧できます。

○参加申込方法

ボランティア体験プログラムの中から参加したいプログラムを選び、申込み方法をご確認のうえ、それぞれの内容によってお申込みください。

○体験プログラムも募集中!

体験期間中はボランティア体験参加者とともに、体験のプログラムも募集しています
NPO法人、福祉施設、ボランティア団体の皆様からのご連絡をお待ちしています!!

☆ボランティア体験inいわて特設ページ

URL:<http://iwate-volunteer.jp/0504experience/index.html> 皆様の参加をお待ちしております。

【お問合せ先】岩手県社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター

TEL:019-637-9711 FAX:019-637-7592 ※ボランティアに関する相談はこちらまでお気軽にご相談ください。
「ずっぱりボランティアいわて」 URL:<http://iwate-volunteer.jp/>



NPO活動交流センターからのお知らせ

今年度からNPO活動交流センターは、「特定非営利活動法人いわてNPOフォーラム21」が、岩手県からの委託事業として管理・運営を行っています。

本センターは、岩手県民の参画と協働による自立した地域づくりを推進するため、岩手県民がNPOや、ボランティア活動に参加しやすい環境づくりやNPOと地域コミュニティ・企業・行政など多様な主体との対等なパートナーシップのもとでの協働を推進する拠点です。

団体登録を行えば団体活動室が無料でご利用できます。ボランティア・NPOに関するご相談も受け付けていますので、お気軽にご利用下さい。



6F オープンスペースにある活動室です



私達がサポートいたします



6F 団体活動室2・3

NPO 活動お役立ち情報



インターネットを活用した資金調達

みなさん！インターネットを活用し、より多くの方から共感してもらい、寄付をしてもらう仕組みをご存じでしょうか？

最近だと、ノーベル賞を受賞したips細胞の研究をしている京都大学の山中伸弥教授も、この手法を活用されていました。山中教授は、「Just Giving Japan」というサイトを活用されています。このサイトは、支援したい団体のために、何かにチャレンジし、寄付を集めるという仕組みです。山中教授は、ips細胞の研究に必要な資金を集めるため、団体登録を行い、京都マラソン完走にチャレンジされました。

その他、実施したいプロジェクトを公開し、プロジェクトを応援してくれる支援者を募る「READY FOR?」というサイトもあります。

色々な手法で活動の応援者を募るサイトがありますので、皆さんの団体に合うやり方で、新たな資金調達を試みては、いかがでしょうか。

- ▼ Just Giving Japan URL: <http://justgiving.jp/>
- ▼ READY FOR? URL: <https://readyfor.jp/>

みなさまの情報などを募集します!!

私たちは情報誌 PIN に掲載する話題を募集しています!!! 皆様の活動やイベント情報など様々な取り組みに関する情報をお寄せください。

詳しくは下記の連絡先までお寄せください。お待ちしております!!!

〒020-0045

岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号

いわて県民情報交流センター「アイーナ」6F

NPO活動交流センター

TEL: 019-606-1760 FAX: 019-606-1765

メールアドレス: n-katsu@aiina.jp

※紙面の都合や発行時期などにより取材に応じることができなかったり、取材記事が掲載できないことがあります。あらかじめご了承ください。



編集後記

今年度からPIN (パイン) 編集を担当することになりました。まだまだ不慣れな面も多々ありますが、皆様のご協力で紙面が完成いたしました。

これからもPINをよろしくお願いいたします。

(担当 イハタ)